

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

1 事業の成果

2022年度も、新型コロナウイルス感染症により活動が制限される環境下であったが、当法人の専門性を活かしつつ、安全に配慮しながら事業を継続した。

①まちづくり、ものづくり支援事業

・4回目となる「インクルーシブデザインアイデアソン」（ユーザー参加型のデザインワークショップ）を、9月15日（木）～17日（土）、芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催した。ユーザー（障害者5名）、企業の企画開発者、デザイナーなど14社21名、芝浦工業大学学生10名が参加、5チームに分かれて、ユーザーに寄り添ったインクルーシブデザインの製品やサービスを考案・発表いただいた。3年振りの対面での開催で、濃密かつ有益なワークを行っていただき、参加者アンケートでの評価も概ね「満足」だった。

<https://incl-design.net/ideathon2022report/>

・オンライン形式の講演&意見交換会である「インクルーシブ・テーマトーク」を3回実施し、会員を中心にそれぞれ約50～100名を超える方に参加いただいた。これはインクルーシブな社会づくりに向けた「テーマ」を各回で設定し、それに関する講演と参加者の業種横断的なディスカッションにより、新たな知見やチャネルの構築、共創活動を支援することを目的とするものである。

第1回7月5日（火） テーマ：「CSUNカンファレンス2022」にみるインクルーシブデザインの最新動向と日本の課題（講演者：インクルーシブデザインネットワーク顧問）

第2回10月4日（火） テーマ：「UD・インクルーシブデザインにおける新たな活動と世代間の共創に関して」（講演者：ビーラインドプロジェクト、大阪工業大学院生、芝浦工業大学学生）

第3回2023年2月7日（火） テーマ：「誰もが等しく直面する『ヒアリングフレイル』の理解とその対応策について」（講演者：聴脳科学総合研究所）

<https://incl-design.net/themetalk-2022-2-report/>

②人材育成、高齢者・障害者活動支援事業

小中学校向けの「子どもユニバーサルデザイン（UD）授業」を継続実施。武蔵村山市では、学校からのご要望もいただき、武蔵村山五中（11月25日（金））、武蔵村山一中（12月17日（土））、村山学園（小学部）（3月14日（火））の3回実施し、それぞれ地元社会福祉協議会とボランティアスタッフのご協力により、高齢者・障害者体験授業を行った。また、8月2日（火）、3日（水）、武蔵村山市社会福祉協議会主催の「夏休み自由研究」に協力し、「ユニバーサルデザイン講座」を実施。初めての地域開催で、異なる学校、学年で、子どもたちも参加することができた。

昨年度より開始した愛知県豊田市での「子どもUD授業」は、今年度も豊田市社会福祉協議会、トヨタ自動車㈱の協力により、豊田市立飯野小学校で実施した。6月7日（水）、9日（月）、21日（火）、7月19日（火）の4回、6年生の総合授業の一環として、「ユニバーサルデザイン教育」を実施した。

<https://incl-design.net/kidsud2022/>

③その他調査研究、普及啓発事業

法人ホームページでの定期的な情報発信に加え、会員専用ページを活用し、活動内容や成果の共有を行っている。

<https://incl-design.net/>

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 1,628 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
①まちづくり、ものづくり支援事業	インクルーシブデザインアイデアソン	9/15～17	芝浦工業大学豊洲キャンパス	10人	企業のデザイナー、障害者	42人	1,347
	インクルーシブ・テームトーク	7/5,10/14, 2/7	オンライン	6人(延べ)	デザイン関係者	約200人(延べ)	
②人材育成、高齢者・障害者活動支援事業	子どもUD授業	8/2,8/3,11/25,12/17, 3/14	東京都武蔵村山市	45人(延べ)	小学生、中学生、保護者、先生	350人(延べ)	267
		7/6,9/5,20,10/18	愛知県豊田市	5人	小学生、先生	188人(延べ)	
③その他調査研究、普及啓発事業	ホームページでの活動紹介によるインクルーシブデザインの啓発	随時	法人事務所	2人	一般	不特定多数	14

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)